

令和5年度 粟ノ保小学校だより

令和5年10月13日 NO. 15



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 心の笑顔のために】

◇異文化交流：1回目フランス◇ 10/12(木)

(株)イーコミュニケーション協力の下、5年生、6年生がオンラインを利用して「フランス文化」について学びました。講師は日本語も堪能で、フランスの食べ物、スポーツ等を質問形式で話してくれました。驚いたことは日本の食べ物ラーメンが、フランスでは一杯¥3,000するそうです。この後、学習したことをレポートにまとめていきます。
2回目はアメリカです。



◇10月授業参観◇10/4(水)

運動会の次の週でしたが、たくさん保護者の皆様にお越し頂きました。どうもありがとうございます。今回は、低学年は「道徳」の授業を公開しました。4年生～6年生は、急遽スポーツ庁のアスリート派遣事業の日と重複しました。次回授業参観には、道徳を公開します。4年生～6年生児童にとって、貴重な体験活動ができたことを喜んでいます。

講師は、リオオリンピック全日本女子バレーボール選手。佐藤あり紗氏です。貴重な機会に恵まれました。感謝です。保護者の皆さんもいかがでしたか。

あきらめず、コツコツ努力することで道が開けたんですね。見習う点がありました。



◇校長の雑感◇

10月「スポーツの秋」です。毎朝、粟ノ保っ子は登校後「チャレンジマラソン」に取り組んでいます。運動の好きな子もちょっと苦手な子も「自分のペースで」もくもくと走っています。自分への挑戦です。自分の記録との闘いです。気持ちの乗らない時もあるけど、走っています。自分の立てた目標に挑戦する姿は美しいのです。

やりとげることだとくましが身につきますね。挑戦し続ける粟ノ保っ子にエールを送りたいです。このことは、難しい言葉で言うと「非認知能力」といいます。わかりやすく言うと、忍耐力、社会性、意欲といった人間の気質や性格的な特徴を指します。特に

「自制心」=我慢

「やり抜く力」=遠い先にあるゴールに向けて、興味を失わず、努力し続ける気質が人生の成功に長期にわたる因果関係を持つそうです。

「努力したからといって必ず勝つとは限らない。しかし、勝ったものは必ず努力している」この言葉は、かつての私の先輩から聞いた言葉です。何か行動しなければ目標は達成できません。とにかく、粟ノ保っ子には「努力=行動」を期待します。

続けて、こんな言葉もあります。

「努力しない者は何も恐れない。努力したからこそ、失うことを恐れる。緊張するのは努力した証拠である。」マラソン大会に向け、緊張するのは努力した証拠です。「スタート時に緊張する～」と言う人は、きっと今まで一生懸命努力した証なんですよ。

11月1日はマラソン大会の応援をよろしく願います。がんばっている様子を是非ご覧下さい。



続けて、「勉強の秋」でもあります。親子の会話です。学校の宿題をしている様子です。



よーし。
がんばって終わらせるぞ。



ねえ、いっぺんに全部勉強するより、少し残して明日したらいいんじゃない。

さて、みなさんは親子の会話を聞いてどう感じますか。母親のアドバイスは正しいです。いろいろな考え方がありますが、人間の脳は忘れるようにできています。繰り返し記憶したことは、よく覚えているのではないですか。何回も繰り返すテクニックは、分散学習と呼ばれ「いっぺん」に集中して勉強するのと、勉強時間を「分散」するのでは、覚える量は同じでも、脳にとどまる時間がずっと長くなると言われています。

では、記憶に長くとどめておくための「分散」の黄金間隔を紹介します。

最初に勉強した **1 日後**、その次は **1 週間後**、その次は **1 ヶ月後** に復習することで、情報が長く記憶に残るそうです。

繰り返しの大切さを伝えてくれています。参考にしてみてくださいはいかがですか。